



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 三 井 造 船 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 田 中 孝 雄  
(コード：7003、東証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 財 務 経 理 部 長 塩 見 裕 一  
(TEL 03-3544-3225)

## 連結決算及び個別決算における損失の計上並びに 業績予想と実績の差異発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結決算及び個別決算において、下記のとおり損失を計上しました。これにともない、平成 28 年 7 月 29 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期通期の業績予想につきましても、修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結決算における損失の計上

当社の連結子会社のプラント建設工事において、熟練労働者の不足等による生産性の低下により工数が大幅に増加したこと並びに工程遅れが発生したことにより、現地工事費が大幅に増加する見込みとなりましたので、受注工事損失引当金繰入額（売上原価）など 68 億円の損失を計上いたしました。

#### 2. 個別決算における損失の計上

前項の連結子会社における損失の計上にともない、当社個別決算において、当該子会社に係る関係会社株式評価損として 20 億円、及び関係会社事業損失引当金繰入額 48 億円を特別損失として計上いたしました。なお、関係会社株式評価損及び関係会社事業損失引当金繰入額は、連結決算では消去されるため連結決算には影響いたしません。

#### 3. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 350,000	百万円 7,000	百万円 9,000	百万円 16,000	円 銭 19.80
今回実績 (B)	322,174	△2,330	337	3,925	4.86
増 減 額 (B-A)	△27,826	△9,330	△8,663	△12,075	—
増 減 率 (%)	△8.0	—	△96.3	△75.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	380,954	△889	2,425	△1,089	△1.35

#### 差異の理由

売上高は、為替レートが想定よりも円高に推移したことや一部の工事での受注遅れなどにより前回発表予想を下回りました。営業利益及び経常利益は、売上高の減少及び円高の影響などに加え、上記 1 項により、予想を大幅に下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益についてはこれらの影響に加え、遊休資産等の減損損失により減益幅は拡大しました。

#### 4. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 750,000	百万円 18,000	百万円 23,000	百万円 19,000	円 銭 23.51
今回修正予想（B）	740,000	15,000	20,000	14,000	17.32
増 減 額（B－A）	△10,000	△3,000	△3,000	△5,000	－
増 減 率（%）	△1.3	△16.7	△13.0	△26.3	－
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期）	805,413	11,813	15,078	7,599	9.40

##### 修正の理由

最近の為替レートの推移状況を踏まえ、前提としている為替レートを1米ドル＝110円から1米ドル＝105円へ変更しました。これにより売上高は前回発表予想を下回る見込みです。営業利益及び経常利益は、為替レート変更の影響や上記1項により前回発表予想を下回りますが、エンジニアリングセグメントの他のプロジェクトで損益の改善が見込まれることや、資機材費や固定費削減等のコストダウン活動による損益改善により損失の影響を圧縮する見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益については、これらの要因及び減損損失の影響などにより下方修正いたします。

##### <ご参考>

##### 平成 29 年 3 月期 セグメント別通期連結業績予想数値（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	前回予想		今回修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
船 舶	120,000	△8,000	120,000	△9,000	0	△1,000
海洋開発	230,000	7,000	220,000	7,000	△10,000	0
機 械	180,000	10,000	180,000	11,000	0	1,000
エンジニアリング	180,000	6,000	180,000	3,000	0	△3,000
そ の 他	40,000	3,000	40,000	3,000	0	0
合 計	750,000	18,000	740,000	15,000	△10,000	△3,000

当社は平成 28 年 10 月 1 日に組織改正を行い、報告セグメントの区分を従来の船舶海洋、機械、エンジニアリングの3区分から上記のとおり船舶、海洋開発、機械、エンジニアリングの4区分へ変更しております。

（注）上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。

以上